

第86号 長野地区会ニュース

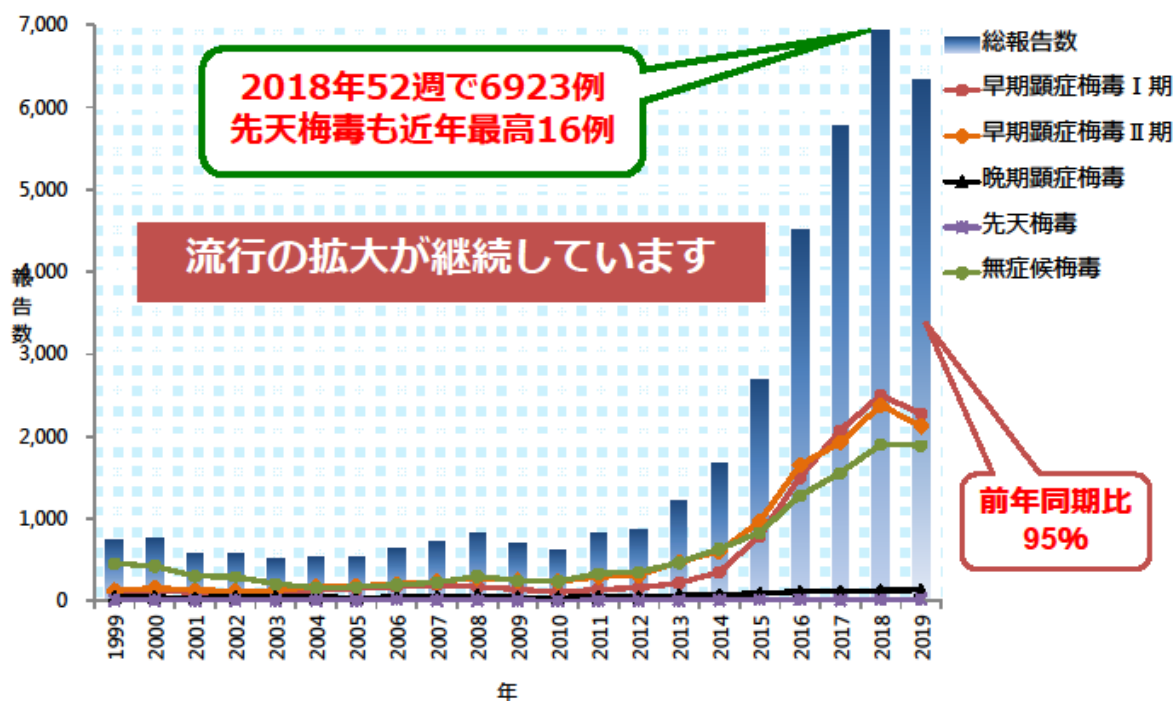
令和2年 1月20日
発行 国臨協長野地区会
発行責任者 平原博美
編集責任者 小山知夏



contents

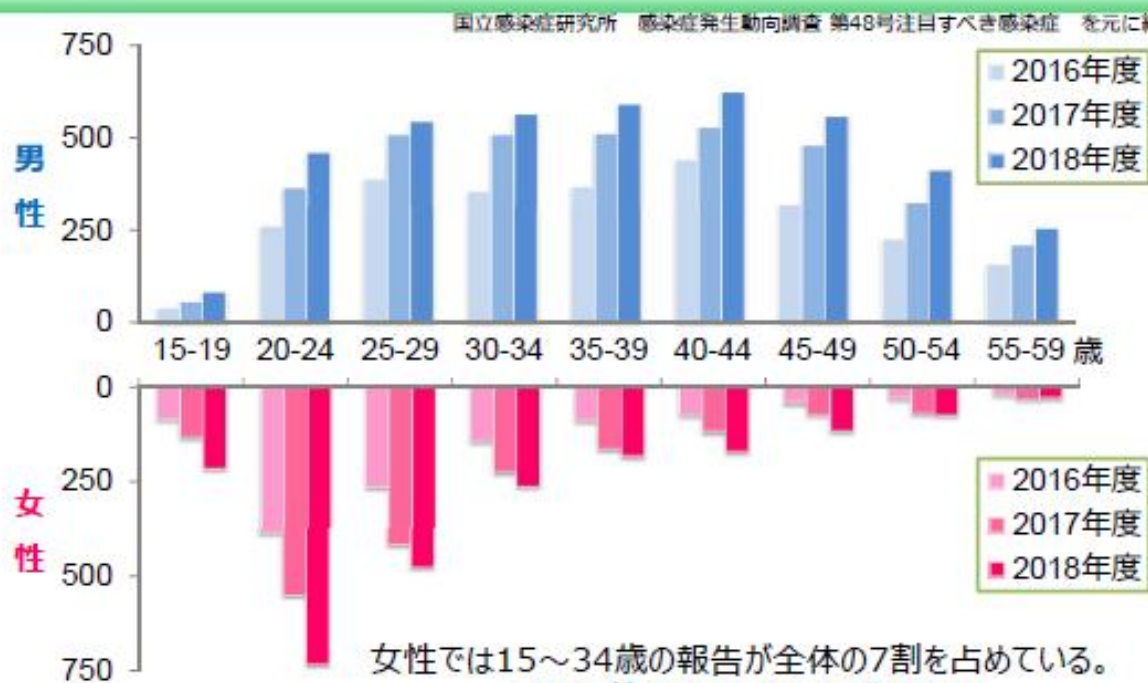
- 学術企画 梅毒の報告数年次推移と疫学的特徴
(提供: 極東製薬工業株式会社)
- 長野地区会定期総会学術研修会に参加して(宮原 秀和)
- 長野市穂保地区災害ボランティアに参加して(内藤 真由美)
- 会員より2020年の抱負をひとこと
- 2019年度国臨協関信支部学会 地区会コーナーについて
- 編集後記

梅毒の報告数年次推移



国立感染症研究所 感染症発生動向調査 を元に編集 4/45

疫学的特徴 ～性別によるピークのの違い～



「長野地区会定期総会学術研修会に参加して」

まつもと医療センター 宮原 秀和

令和元年6月22日（土）NH0信州上田医療センターにおいて、第34回国臨協関信支部長野地区会定期総会・学術研修会が開催されました。来賓として、関東信越グループより北沢臨床検査専門職、国臨協関信支部より岩崎支部長、木津谷理事にご臨席賜りました。

学術講演ではシスメックス株式会社の原敬志先生より「遺伝子検査でわかること—遺伝子の基礎からがんゲノム医療まで—」についてご講演をいただきました。基本的な遺伝子関連検査と遺伝子検査についてのお話やがんゲノム医療に対する行政の動きについてまで幅広く学ぶことができました。中でも次世代シーケンサー（NGS）のお話は印象的で、NGSでは一度に多数のがん遺伝子を調べることが出来る新しい遺伝子検査ということでもとても勉強になりました。今後もこの学術講演で学んだ知識を活かせるよう努力していきます。

続いて特別講演では北沢臨床検査専門職から「伝達事項ならびに会員の皆様にむけて」と題し、国立病院機構および関東信越グループの概要、研修会や認定試験の補助制度など人材育成についてご講演頂きました。特に認定試験や主任技師等任用候補者選考のお話が印象的で、私も認定試験の補助制度を有効に活用し、積極的に資格を取得したいと思いました。また、これから自分がどのように仕事と向き合い努力していかなければならないか改めて深く考えなくてはならないと感じました。

定期総会では平原地区会長からご挨拶を頂き、齋藤議長の進行の元、平成30年度経過報告、平成31年度事業方針案、新役員選出などが審議され、会員の承認をもって無事終了しました。

総会・学術研修会終了後には意見交換会も行われました。多くの会員の皆様と和気藹々とした雰囲気の中、様々な情報を交換し、親睦を深めることができ、とても有意義なものとなりました。

最後になりますが、お忙しい中ご講演いただいた北沢臨床検査専門職、原先生、ご臨席賜りました岩崎支部長、木津谷理事、そしてこの会を企画・開催してくださいました長野地区会役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

「長野市穂保地区災害ボランティアに参加して」

東長野病院 研究検査科
内藤 真由美

長野地区会の皆様、明けましておめでとうございます。皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます

去年はラグビーワールドカップで日本代表が初の！初の！！決勝トーナメント進出や、平成の時代が終わり新年号令和が始りとおめでたいニュースがあった一方、相次ぐ大型台風で各地に未曾有の被害が出たり、京アニ放火事件など悲しいニュースも沢山ありました。



今回私は長野市にも甚大な被害のあった台風 19 号による千曲川決壊後の赤沼地区で参加したボランティア活動について書かせていただきます。

まず参加したきっかけは「平日のボランティア数がまったくたりていない」との放射線科副技師長の言葉からでした。自分でも近くで起こった災害に何か出来ないかと思っていたのですが・・・「私にできるのかな？」「ベテランさん達の邪魔にならないか



な？」とか「何を準備したらいいのかわからない」「被害にあわれたご家族とどんな風に話せばいいのかな？」とか気持ちよりもまず不安の方が大きかったです。しかし行かなきゃ何も始まらないと決意し、1人で平日のボランティアに参加してみました。

活動は 5 人 1 グループで主に一般住宅の土砂のかき出しでした。千曲川決壊から約 20 日が経過していましたが、道路は泥でぐちゃぐちゃな状態そして両脇には災害ゴミが高く積みあがっていました。ボランティアの自体は土砂のかき出し作業なので複雑なものではありませんでしたが、暑さと粉塵舞う中で作業は体力を容赦なく奪われていきました。。。

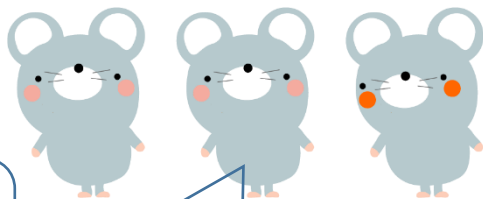
（運動不足の体にはこたえました泣）その中で、被災者でもあるはずの自宅のおじいちゃんやおばあちゃんが笑顔で声を掛けてくれたこと、被災の前の話をしてくれたこと、休憩時間にミカンやリンゴなどを出してくれたこと。長野の人はなんて優しい人が沢山いるんだろう、、と元気をもらいました。



もしこれから先、少しでもボランティアに参加してみようと思われる方がいましたら、不安や後悔する前に、一度参加してみてください。現場に行くことで得るものが沢山あるはずです。

新春2020 豊富をひとつ。

東長野病院



「仕事と育児を両立し、週末は出来るだけ時間を作り子供との時間を大切に。」

内山 美樹

「人生、楽しんだ者勝ち！
なんだけど、もうちょっと
体力つけないと〜…」

平原 博美

「体力つけて乗鞍ヒルク
ライムに挑戦する！」

内藤 真由美

まつもと医療センター

『何を始めるにしても健康でなければ始める気にもならないと思います。ですので、今の自分で精一杯の健康を目指したいと思います。』

島海 洋

『何かひとつ新しいことを習得する』

中根 文裕

『心も体も健やかに』

飯塚 裕大

『淀まず、止まらず、振り返らず、心穏やかに毎日を大切に生きたいです。2020年も笑顔が沢山ありますように。』

茅野 美栄子

『「心が変われば行動が変わる 行動が変われば習慣が変わる 習慣が変われば人格が変わる 人格が変われば運命が変わる」 「おもしろい」より』

大槻 幸子

『笑顔でいられるように頑張る。』

大石 悦子



『去年は長女が生まれ、子育てに家庭、仕事や遊びと、バランス良く頑張っていると思います。』

浅川 和也

『風通しの良い技師長室にする。』

前澤 直樹

『年齢に負けない 動ける(働ける)体作り』

小林 美智子

『ちゃんとやる。』

木村 初美

『仕事も遊びも全力で取り組む！』

清水 良祐

『チャレンジ』

中島 美香



『今年も例年のごとく能力よりも体力勝負』

植松 昭和

『健康に気を付け、仕事も趣味も充実させたい。』

宮原 秀和

『検査科全体で助け合い、楽しく働きやすい職場を目指すため工夫をし、働き方改革を進めたい。』

宮下 雅子

『仕事と家庭を両立させ、両方とも頑張りたいと思います。』

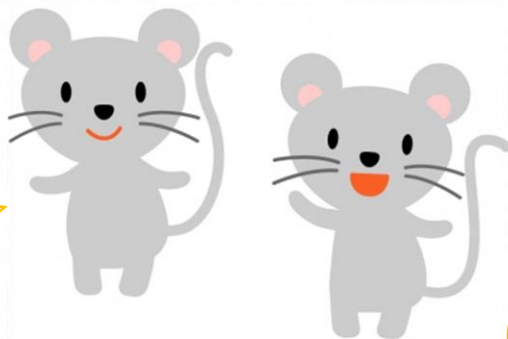
熊谷 さつき



小諸高原病院

残りあと3か月です。
限りある時間を大切にして、
きちんと終わることができます
ように「時間を大切に過ごす」
とします。お世話になりました。

齊藤 美穂子



食生活に気を付けて適度な
運動を心がける。

浅野 太貴

信州上田医療センター

従量課金契約の更新に伴う
医療機器等の入れ替を
無事終了させる

吉田 茂久

年男
貰えるはずだ
お嫁さん
横井 貴之

卓球の
東京五輪
目指します。
宮沢 宏也

筋トレで
減らせ憎つき
体脂肪！！
山邊 ゆかり

今までと同様に、精
励恪勤で力の限り
仕事に励みたい。

佐久間 悠輔

がんばるぞ！
退職金
もらうまで。
中條 幹夫

仕事して
いっぱい飲むぞ
ハイボール
青木 悠太郎

ソロキャン・デビュー！！
・・・したいなあ。
平原 学

ミニマリストを目指
して断捨離する。
曾和 峰奈

長距離通勤
あるといいな
どこでもドア(字余り)
芦川 晋

乗りたいな
FJクルーザー
今年こそ!!
小山 知夏

31アイスクリームのメニュー全種類制覇！！
関口 友一

ノタンの
絵本全巻
揃えたい
三井 恵都子

限界突破！！
寺戸 一昭





国臨協関信支部学会 地区会コーナー

NAGANO CHIKUKAI

検査科 自慢 健康!

長野県は「健康で長生き」とよく言われ
平均寿命：男性 80.88 歳(全国1位)
女性 87.18 歳(全国1位)
がん死亡率が全国で最も低い等、県内外で
高く評価されています。

健康な会員の頸動脈エコー画像
を使用して、モザイクアートを
作成してみました！よく見ると
謎の頸動脈が分かるかも！？

結果
平均MT: 0.57mm (優秀！)
MaxMT: 1.2mm (あちや～)

○有名人名
長田昌幸、長田信繁(平家)ら長田一族、佐久間象山
作曲家の久石譲さん、黒田彌生さん、美川憲一さん、オリ
ラジ麻婆さん、池上彰さん、新海誠監督(君の名は)、岡田
守監督の愛(サマーウォーズ)、佐藤寿さん(北斗の拳)、青
野竜さん(loranger)が長野県生まれ。
さて、背景のアニメと舞台はどこかわかりますか？

○全国ランキング○
一人当たりの野菜摂取量 1位
味噌の消費量 1位
人口当たりの美術館数 1位
移住したい県 12年連続1位
日本百名山の数 1位
公民館の数 1位
小林さん的人数 1位
横断歩道での一時停止率 1位

そば、オリンピック、アルプス、
松本城、善光寺、諏訪湖……
イメージはいろいろと湧いてきます
が、さて、長野はどんな県でしょう？

まつもと医療センター 信州上田医療センター 東長野病院 小諸高原病院

令和元年9月7日に開催された第47回国臨協関信支部学会での地区会コーナーにて、長野地区会ポスターを制作しました。

今回のテーマは、、、
「検査科自慢」でした。
勝手ながら、「検査科」の部分「長野県」に置き換えて、「長野県自慢」として各施設の地域を舞台とするアニメ作品を背景にして、皆様に撮っていただいた頸動脈エコーを使用したモザイクアートに挑戦しました。遠くからでもひとつの頸動脈エコーのように見える仕組みです。遠くから見て興味を持って近づいて来ていただけたらいいなという思惑でした。残念ながら入賞することができませんでしたが、他施設の方々からナンダコレ！？と興味を持っていただくことができました。思惑通りです(*^^)v

ご多忙の中、エコー画像や写真等へのご協力ありがとうございました。

また、このポスターは来年度開催予定の地区会総会でも掲示する予定ですので、見ていただけると幸いです。

～編集後記～

長野地区会会員の皆様、あけましておめでとうございます。

令和初の年末年始が9連休となりましたが、皆様どのように過ごされましたか？

私は新年早々、2泊3日で京都旅行へ。最近、流行っている御朱印を清水寺や金閣寺などでいただいて、嵐山の竹林や渡月橋など観光してきました。やはり京都は外国人観光客が多くみられ、様々な言葉が飛び交っていました。

2020年は東京オリンピックもあるので外国人との交流が増えると思います。患者さんも外国の方が増えると思うと、改めて英語をしっかり習得しなければいけないなとつくづく思います。特に医療英語はいちいち単語が難しい。。。これからの時代、覚えないといけないですね。頑張ります。

今回、皆さんに今年の抱負をいただきました。仕事に対する真剣な抱負からプライベートの面白い抱負まで、個性豊かで楽しい紙面となったと思います。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

C. K